

SADPA

SAKAI DESIGN ASSOCIATION

堺デザイン協会

No.1 創刊号

昭和59年9月1日



大仙公園 平和塔

創刊に際して

堺デザイン協会 理事長 川崎 浩



デザインに対する一般の理解なり、評価は近年とみに高まってまいりました。しかしデザインに対する高い評価は必ずしもそれを業とするデザイナーに対する評価でないことを肝に銘じるべきであると考えております。

日々進歩する技術の取得、研鑽に努め豊かな感性を磨くのは勿論ですが、つねに社会に対する奉仕を第一と心掛け、その期待に応えるべく努力する所存です。

デザインの定義は色々の表現がありますが、私は、人間と技術を仲立ちするもの、コーディネートするものと考えています。近年のともすれば暴走し、環境に害を及ぼしがちな技術と人間との間に、よりよい調和と秩序を創り出すことです。この人の心と物とを結びつけるデザインが、さらに人と人とのよりよいつながりに貢献できるよう、皆様方ともども努めようではありませんか。

設立準備から発会記念パーティまで

■SADA設立の経緯

かつて自由な精神による先進的文化を誇った堺に職住する各分野のデザイナーが、その専門領域を超えて集い、お互に感性を高め、技術を磨きながら、地域社会における新しい文化の創造と産業の発展、住みよい環境づくりにいささかなりとも尽すべきであると、有志世話人が2年近く協会の設立に向けて話し合いと準備を進め、各専門分野別のデザイン団体の会員で、堺市に勤務、または在住するデザイナーを中心に設立の呼びかけを行い、35名の参加を得て昨年7月設立準備会を開催するに至りました。その後、本年1月に行った発会記念パーティまでの足どりは、次のようなものであります。

■設立準備会

- 昭和58年7月5日、堺市立勤労会館で開催
- 世話人代表 川崎浩（現理事長）氏ほか35名出席
- 協会設立の趣旨、経緯などについての報告、会則案 設立総会の準備などについて討議する
- 会終了後、懇親会を行い、意見を交換する

■設立総会

- 昭和58年12月2日、堺市立勤労会館で開催
- 設立発起人35名のうち、24名出席（委任状7名）
- 総会の次第
 - 世話人代表 川崎浩（現理事長）氏が、設立の趣旨 設立総会までの準備活動などの報告を兼ねて挨拶を行う
 - 第1号議案 会則に関する件
垣村三平氏が会則案及び会費案に関する説明を行い 原案通り可決
 - 第2号議案 役員選出に関する件
議長により設立準備委員の中から役員9名（任期2年）を指名
さらに、役員9名の互選により（現）理事・監事を選出
理事長：川崎浩 副理事長：岡村符
理事：浅野正道、小田順子、金子誠之助、桑原正嗣
森和雄 監事：垣村三平、高木外
 - 第3号議案 初年度事業計画及び収支予算に関する件
金子新理事が原案について説明、原案通り可決
 - 第4号議案 発会記念パーティに関する件
川崎新理事長が初年度事業活動の中心となるパーティの構想、時期などについて説明、理事会一任に決定
- 総会終了後、懇親会を行う
- 設立総会に先立ち、堺市政記者クラブで堺デザイン協会発足についての記者発表を行い、朝日、読売、毎日 日経など各紙に掲載された

■発会記念パーティ

年もあらたまった本年1月27日、初年度事業活動の中心行事である堺デザイン協会発会記念パーティをシャトー南海で開催した。

当夜は、堺市・商工会議所・大阪府・デザイン団体などご来賓とSADA会員・賛助会員をあわせて71名の参会を得ることができた。

パーティは、小田順子理事の司会進行がやわらかなムードを醸し出すうち、川崎理事長の発会の挨拶にはじまり、来賓の市川堺市長職務代行、川坂堺市議会副議長、前田堺商工会議所会頭、高山大阪府商工部長、の心のこもった祝辞が続き、金子理事が多数の祝電を披露、高木堺文化団体連絡協議会長の力強い乾杯の発声を機に懇親の小宴にうつった。賑やかな歓談の一時が続く中で、沢村大阪デザイン団体連合代表・木村日本ディスプレイ協会理事長のユニークなスピーチもあって、楽しい雰囲気は盛り上げて行った。最後に中井元大阪府議長の万才三唱でSADAの前途を祝し、岡村副理事長の挨拶で、会員の手づくりによるSADA初めての催事を無事終了した。



会員のプロフィール

浅野正道

あか・からがね・せんとく・ブロンズ、これはみな銅を主体にした合金の異名です。三宝伸銅の製品の大部分は素材として市場に出しておりますが、食器・装飾用品など完成品も造っております。私はこの部門の担当です。

今村忠尚

S12.4.20 堺で生れ終戦の年は市立錦綾小学校の2年でした。堺の空襲で焼け落ちて行く我が街を見て口惜しい思いをした記憶があります。そして現在発展しつつある我が街にSADAが発足しました。会員として時間の許す限り会員の諸氏と親睦、交流を計りたく思います。

上野あきら

32才、男、妻1人、子供2人、GF多数、趣味：モトクロス、ヨット、モーターボート、ゴルフ、野球、長所：正義感に燃えるドアホ、言いたい事言い、短所：前記によるトラブル等、他所属団体ODOU・JB、JAGDA、DAS

老 健一

いくつになっても夢を見ています。ただ今の夢は工芸による人間形成をテーマに、著作をすることです。出版社に売れないからとにべもなく断られました。それは当然のことと納得しています。売れない本を書くちよっと枠だとも、もう一つ、伝統工芸の現代化の夢。

岡村 筈

四月初めにオープンした柏原市歴史資料館のお手伝いをしました。SADAも今年から皆さんの創意に基づく事業をするために、先づ会員一人一人が同じ意識で参加し、仕事の分担をする事が急務です。事務局へも皆さんのお力添えを賜りたい。

尾崎悦子

堺市でフラワーデザイン教室を開いて10年。日本フラワーデザイナー協会の公認校としてデザイナーの養成に従事。昨年より労働省認定のフラワー装飾技能士資格が新設され技能士養成に努めている。12月に教室開講10周年行事として、作品展を企画中。

小田順子

服飾の仕事をしてから？十年。小さいときから鏡を見ることが好きだったよう。そんな性格が現在の仕事につながっている。そのためにいつも考えている服飾は日常生活に溶けこんだもの。今は、それらの感性を活かしながら少し範囲の広がった仕事をしています。

織田義郎

CIの仕事を中心に、ますます忙しい毎日。そんな中で、イラストを描くことが唯一の楽しみ。今まで何をやってきたのか、無我無中の数十年。どうやら、夢もだんだん小さくなって、この道、この世界で、ホンボンと片隅で、何か、人のためにできればと思っている。

垣村三平

もともと絵が描きたくて絵画の専門学校を出たものの、戦争という大きな壁にぶつかり、絵筆を捨てて永年の役人生活。いまは大阪デザインセンターで、一般消費者、産業界、デザイナーを対象に、各種の事業を通じて、デザインの啓発につとめています。

要 信一

堺デザイン協会各位の皆さまと共に、理念の祈りを、実地にと、

- 1 洗脳
- 2 活性 (active)
- 3 プラス・アルファ
a・・・Aを、

再生を、更らにとの、更生にと!!

金子誠之助

堺に住み早や20年、年数の割りにはあまりにも堺を知らない自分を発見、この機会に現状を勉強し綺麗な街、住み良い街になるようデザイン面からのフォローができないものか、努力したい。デザイン業務はインテリアを担当、店舗、ホテル、船舶内装等を手掛けている。

川崎 浩

昨年末、32年務めた大丸を退きました。週一回設計部に顔を出すことと、大学の出講以外は家に居ります。インテリアがはやっていますので、講演とか会合の口がかるのは、有難いことです。

北川 正

社内での私の分野は、店舗と展示装飾で、プランから設計施工監理までを担当しています。最近の活動として柏原市歴史資料館、大阪国際見本市の展示装飾などを担当しました。当協会では年下組に属しますので、よきご指導をお願い致します。

木下良明

インテリア、設計業務ニ携ワリ18年ニ成リマス。然シコノ2〜3年打合業務ガ多クナリ腰ヲ落ツケテ仕事ヲスルコトガ少クナリ残念デス。商業主義ニ走ル最近ノ風潮ハ反省スベキ時ニ来テイル様デス。得タ知識ヨリ失ツタ物ノ方ガナント大キイコトカ……ポーゼン!!

桑原正嗣

5/31、東京、晴れときどき渋滞。10時、有楽町ニッポン放送で提供番組の録音立会い。ゲスト出演の前田美波里とCM制作打合せ→銀座マガジンハウスでELLE誌の広告撮影の詰め→ラフォーレ赤坂の三宅一生バリコレクションへ→青山ハナエモリ事務所でWWD紙編集タイアップ打合せ……スキゾフレニックなアドマンの一日が消えて行きます。

阪井龍彦

音楽好き、男前の33才。最近ひげを3年ぶりにはやしました。デザイナー兼イラストレーターの中途半ばな必殺仕事人です。近頃はキャラクターデザインに力をいれています。健康に気をつけてヘルシーデザインを心がけています。体もデザインもシェイプアップ!

坂下順二

堺東高島屋「UPル、オープン準備のため、大阪から堺に応援に来ています。職も住も堺での毎日ですので、自然と堺の文化度に目が行きますが、背筋の寒くなる様な現実には驚きです。UPルとSADAが、堺の文化の起爆剤になればと願いつつ、頑張っています。

高木 外

昭和35年久保田鉄工に入社。現在内燃機器研究本部に在籍。入社以来農用機器のデザイン屋として、この道ひとすじ。歩む農業から乗用化へと機械化黄金時代も昔話し。農業機械新次元への飛躍へ、デザイン屋の正念場を迎えている。

滝川益彦

年令に逆らって休んでいたスキーをやり出し、若者に負けないぞ!!なんて空いばり?少々短絡的と一笑されるも覚悟の上。近頃何んでもやりたいと意欲だけは満々。仕事も遊びも人との出逢い交りによって、新しい知恵が授かる思いがするこのごろです。

田中賢次

現在、この10月に新らしく生まれ変わる堺高島屋、アップルS.C.の内装管理業務に携さわっております。客観的な立場で多くの人々のデザインを見、触れることによって、今までの自分のデザインの見直しと充電に努める毎日です。

田中正彦

インテリアテキスタイルに関する商品の企画開発が専門で、現在はカーペットに関する商品企画に力をそそいでいる。タペストリー及び別注のカーペットは得意な分野である。多忙な毎日ではあるが、趣味で絵画制作に親しんでおりいつか作品発表をと思っています。

田中信雄

分野：工業デザイン 好きな言葉：謙虚、挑戦、前傾、攻撃、最前線、尊敬、先生、意識、理論、信用、信頼、確認
嫌いな言葉：無視、無知、無能、無害、無益、無言、無口
目標：セールスデザイナー、トータルコーディネーター
趣味：30→60にひろげたい、特にダンス（社交ダンス）、邦楽（琴）、音楽（クラシック）、スポーツ（テニス、バレーボール、ソフトボール）、言葉の偏蓄、カラオケ等。
挑戦的で常に前向きな人生を送りたい。

辻 哲男

ヤル気満々時期とモーレツな怠惰時期とを繰り返す昨今趣味や遊びに熱中していた頃の方が仕事も良くできた様に思える。しかしこれも又、風ぎも嵐ものりこえて順風満帆の航海に出るためのチューニング時期だと考えよう。それにしても心のコントロールBOXの修理を至急しなければ…

徳田賢志

妻1人、子供1人の独身35歳。おやじの代で確固たる地位を築き、2代目で大きく飛躍？ その2代目。注文取り配達、取り付け、集金、渉外係り、接待係り、何でもOK 趣味もテニス、スキー、麻雀、パチンコ、睡眠と超過激、だけど中身は質実剛健、誠心誠意。

橋永和風

福助の100年史にとりくみ、悪戦苦闘五年余り、やっと目の目をみることになりホッとしています。こんどは、「ウタイ」の先生になって古典芸能の普及と保存につとめ、毎日大汗をかいています。「能」の世界に「グラフィック」を生かすべく目下苦慮中。

古本和宏

建築とインテリアデザインの古本です。珈琲専門店のMUCのチェーン展開で北野田駅前と南花田に近作が営業、サウナニューフセと梅田のサウナ大東洋を改装営業しています。七月末には美原町に上島珈琲のサイロ塔完成予定です。御意見御指導下さいますよう……

前田 豊

私は主に、宝石、時計、メガネ店を専門に、インテリアディスプレイの設計、施工、製作を致しております。特に最近の作品は大阪心斎橋にある「SEIKO」ショールームがあります。

松江寛之

堺市は100万人口に近づきつつあります。飲み水が淀川からも貰えない状況です。大和川の上流をきれいにすることなど、水と緑の環境を美しくする計画が大切です。ハイテク時代の反対の極、自然・バイエコロジーが、堺の新しいルネサンスの核になればと考えます。

萬代軍一

どぎつい色彩映像に毒され勝ちな子どもたちの目に夕映えの美しさ、アジサイの鮮かき、そしてシャボン玉にも色を発見できる審美の心を回復し、豊かな人づくりを念じて現役の座でがんばっています。大阪市でたった二つのひらがな校、すみれ小学校の萬代です。

森 和雄

知らない人に囲まれて生活するより、顔見知りがたくさんいる町に住む方が面白いと考え入会しました。身近に目を向けると古い町も意外と新鮮。デザインとはコミュニケーションの手段、SADAも素晴らしいコミュニケーションをデザインする人達の集りに!!

森 達男

堺で工業デザイン事務所を開設して3年、やっとリズムに乗って仕事が出来ようになりました。堺在住の産業及び商業関係者、官公庁、デザイナー、e t c の方々と接する機会が少なかったのが、SADAの発足でこれらの皆様との交流が出来大変喜んでます。今後共お手やわらかに願います。

安永一典

大丸装工事業部で海外物件を担当して居ります。隣国の東南アジア中心ですが、日本が今まで成功して来た点は積極的に取入れ、各国が各々持つ文化を基盤に、新しい民族としてのデザインを育み、豊かな社会造りの色どりとなることを切に願って居る次第です。

山崎 晶

長い間、百貨店という所でデザインというものを考えてきました。色々な人の仕事をいたしました。お互いによく話し合い、わかり合った時にいい仕事が生れたような気がします。ひとの心がわからなくて、デザイナーの資格なし…が持論です。

横山和夫

自己紹介、武田薬品からサントリーへ、そしてS51年にサンクリエーションを設立、店舗設計を主に行動するも、ハードプランニングに頭打ちを感じ、4～5年前より、ソフト+ハードプランニングへと転換をする。今年5月のアメリカ行は、9回目の視察で、目下セミナー（薬品メーカー）を引き受けたり、卸セミナーを引受けるも、今の所、食品小売業（スーパー、CVS、市場連合）に於ける、業態開発を進行中です。

吉田博文

オメガ特約店の販促指導及び商業施設の企画設計にあたるが、秋にオープンする店が多いため例年6～7月は毎日のように京阪神も含めて、九州・四国・中国地方の日帰出張を余儀なくされている。もう少し落ち着いてデスクに向いたい今日この頃である。

(五十音順)

S 59.7 現在会員数 38名

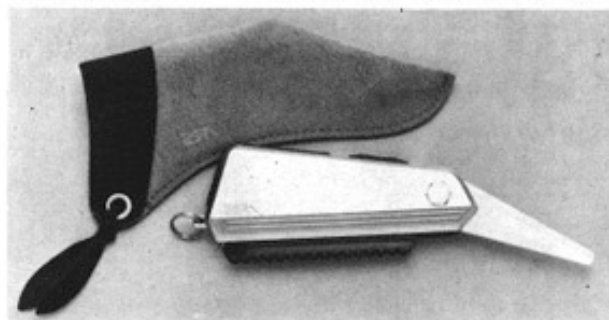
企業が創る

堺に画期的な鉄誕生「アルストン15」

アルス刃物製造株式会社

ハサミも使いようだけでは切れない時代になってきた。実に多くの新素材が出現し、切る道具がそのニーズに対応しきれなくなってきた。ところが、ハサミとノコギリの専門メーカー、アルス刃物製造が東レと共同開発した、「アルストン15」ならそんな悩みはたちどころに解消してしまう。というのは刃先に今注目の新素材、ジルコニア系セラミックスを使用しているため一般刃物鋼製ハサミに比べ硬度は約2倍、切断耐久性に至っては約20倍も強い。構造も画期的で、伝統的な日本の形「握り鉄」から発想を得ている。シンプルでコンパクトな機能を重視し、さらに機能性の拡大を計り斬新なデザインセンスをプラスした今までのハサミには見られなかった形状を生み出した。テコ

の応用で力が入り易く左手での使用も可能、刃を閉閉運動させないでスライドカットできる様にも考慮されている。さらに携帯にも安全なロック機構を採用するなど色々な工夫が凝らされている。この多様化の時代にさらにマーケットを拡げより広いユーザー層をキャッチできる商品である。



堺の新製品フェア'84「堺市長賞」受賞に輝く「アルストン15」

ズームアップ

ザビエル公園のART 坂下順二

都市における文化度を計るスケールとしてのART、(今ここでは、あえて芸術という、固苦しい言回しはやめて「ART」と気軽にいって見たいのですが……。)

いかに深く、生活にARTが入り込んでいるか、いかに気軽にARTと付合っているか、そんなスケールを片手に、堺の街を歩きまわって見たのです。

しかし、スタートして見ると、お世辞にも文化度が高いといえない状況に、悪戦苦闘の連続、とにかく、絵になりやすく、捕えどころのない街だというのが実感です。

そんな中で、あえて明日への希望の光を見つけ出すため、街を「ZOOM-UP」して見ると、何とか1つ2つ、キラリと光るARTを見つけ出すことができました。

今回、その中の1つ、ザビエル公園の中の彫刻を紹介してみたいと思います。

記録には、ポルトガルより堺市への寄贈、作家はジョルジュ・ピエイラ、1969年作と記されているのみですが、

モンドリアンを連想させる構成と、スチールの持つテクスチャーが、建築構造を見る様な迫力を持っており、公園の片隅に置いておくには、惜しいほどの作品といえます。内容が素晴らしいだけに、置かれる場所に恵まれなくて、埋まっている状況が、ARTと都市との関り方に対する、一つの問題を我々に提示しているようです。



 堺・今・昔

中二階の町並 老 健一

「もののはじまりなんでも堺」さかい音頭はじめの一節であります。黄金の日々の自由都市堺のエネルギーを偲ばす歌詞といえます。民衆が作った美しい自由都市として遠く中世のヨーロッパにまで喧伝された、堺のよき時代の伝統を未来に受けつぎ生かすため、堺の今昔をとり上げるのも意義があるといえないだろうか。

昭和20年7月9日夜の大空襲で灰燼となるまでの堺の町並は、軒の高さがそろって小壁に格子を塗りごめにした外見平屋に見える中二階の町並がしっとりと落ち着いた雰囲気をつくっていました。昭和2年に発刊された、今和次郎著、「日本の民家」によれば「街の形相を統一するという点で、徹底した好例として堺市の一部を紹介する」と町家の図版を入れて説明しています。戦災をまぬがれた旧市街の一面にこの町家がいまも残っています。

戦後の奔放な自由とちがって、黄金の日々の頃の自由都市は活発な経済活動の半面、都市計画には、会合衆の美意識が統一のある調和のとれた町並を作ったものでしょうか。

町人の町、堺では、武士を見下ろすことを憚かって二階家

を作らなかったと、かつて同ったことがあります。東京のデザイナーがこの町並に魅せられて、帰京予定を延ばして歩かれたことも覚えています。

自己主張の強い、バラバラな町並に統一と変化のひっぱりあう緊張した、かつての堺の美しさが甦って欲しいと思うとき、SADAの仕事は重さをもってきます。



 E - スポット

ナワのれん「大津屋」 浅野正道

かえりにキューと一パイ——というのが男性にはたまらないよろこび。フトコロ具合を考えると気取ったところには行けず、立ちのみではチョットという向には山之口の「天神さん」うら菅原ビル階奥に「大津屋」という昔ながらのナワのれん、一風変わった店をすすめます。年の頃四十出たくらいの目のかわいい体格のよいマダムが一人、とにかくだまってカウンターに座ればよい。常連、一現の区別なくあいそうよく迎えてくれる。アテは注文しなくてもマダムがお客の顔を見て出してくれる。何時間いても酒のおかわり以外は店まかせ。しかも安い。こんな店こそわれわれの味方ではないだろうか。尚、昼に行くと定食も安く

食べられる。

注、カラオケがないのでたすかる TEL 22-4168



堺デザイン協会第1回総会

- 昭和59年5月24日 堺市立勤労会館第5会議室
- 開会 午後6時40分
 - ・事務局より出席状況報告
 - 会員36名中 出席20名 委任状提出者7名で過半数以上であり総会開催定足数に達したことを確認
 - ・議長は会則により理事長が担当する
- 議長挨拶 川崎理事長
 - ・書記に高木 外、北川 正、両名を指名
 - ・議事録署名人に要 信一、森 達男、両名を指名
——拍手により承認
- 議事審議
 - 第1号議案 昭和58年度事業報告及び収支決算報告
 - ・金子理事より事業報告
 - ・森理事より収支決算報告
 - ・垣村監事より会計監査報告
——拍手により承認
 - 第2号議案 昭和59年度事業計画(案)及び収支予算(案)
 - ・金子理事より事業計画(案)提案
 - ・森理事より収支予算(案)提案
——拍手により原案通り承認
 - ・事業計画概要

創立2年目を迎え会員の拡充と相互の交流、組織機能の確立と運営といった協会自体の地固めというべき活動に力を入れ、さらに地域社会におけるデザイン文化の向上を図るとともに適切な機会を捉えて、徐々に活動の輪を広げて行くため下記の企画を立案し実施する。

- | | |
|----------------|----|
| 1. 見学会 | 2回 |
| 2. SADAニュースの発刊 | 2回 |
| 3. セミナー | 1回 |
| 4. 懇親会 | |
| その他 | |

○ 第3号議案 会則の変更及び会費規定について

- ・岡村副理事長より会則の変更及び会費規定について主旨説明
- ・会則変更について

昭和59年4月24日の理事会の審議ののっとり「堺デザイン協会会則」を下記のアンダーラインのように変更することを提案

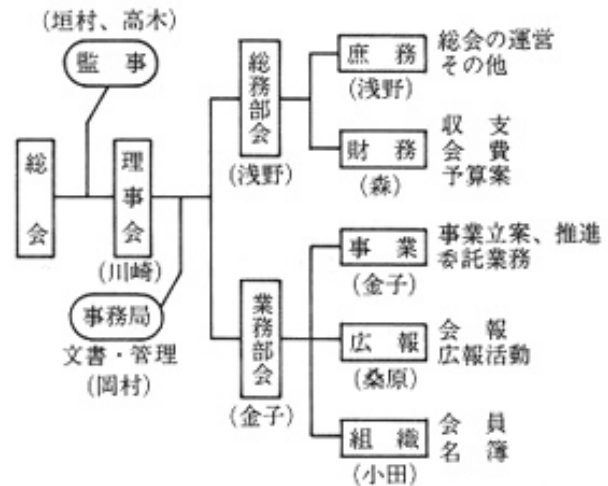
(会員)

第2章 第4条 本会の会員は原則として堺市に在住または勤務し、かつ第2条に賛同するもので、会員および賛助会員とする。

——拍手により承認

審議終了

● その他 堺デザイン協会の組織の説明



- ・部会報告
 - 業務部会及び事業活動報告 —— 金子理事
 - 広報活動報告 —— 桑原理事
 - 組織活動報告 —— 小田理事
 - 財務活動報告 —— 森理事
 - 事務局及び総務部会庶務活動報告 —— 岡村副理事長

● 閉会 7時45分

協会の活動

'83	12/2	堺デザイン協会 設立総会・発会式	堺勤労会館
	12/16	第1回理事会	事務局
'84	1/20	記念パーティ準備会	あかがねクラブ
	1/27	発会記念パーティ	シャトー南海
	2/16	第2回理事会	事務局
	3/17	懇親会(交流サロン)	あかがねクラブ
	4/3	事業委員会	高島屋
	4/14	広報委員会	福助
	4/17	組織委員会	堺高島屋
	4/24	第3回理事会	事務局
	5/8	組織委員会	事務局
	5/24	第1回堺デザイン協会総会	堺勤労会館
	6/6	広報委員会	福助
	6/13	ロゴ委員会	喫茶カオル
	6/29	広報委員会	事務局
	7/9	第4回理事会	事務局
	7/13	ダイキン見学会	
	8/3	広報委員会	事務局

秋の文化・スポーツ催事

■堺市の三大催事

- 市民オリンピック(スポーツ・フォトコンテスト併催)
10月10日 金岡公園
- 堺まつり(前夜祭)
10月20日 市民会館
- (パレード他)
10月21日 大小路他
(前夜祭にはバイオリンの辻久子女史が出演)
- 農業祭
11月23日 大仙公園

■博物館の展示

- 写真による百舌鳥古墳群展
～9月2日
- 陶器千塚展
～9月30日
- 高林和作洋画展
9月5日～10月14日
- 秋の特別展「住吉神社と歌枕」
10月6日～11月11日
- 堺市展(日本画・洋画・彫刻・
工芸・写真・書道・てん刻)
10月30日～11月11日

■秋の四大祭り

- 開口神社「八朔祭」(ふとん太鼓)
9月8日～10日
- 百舌鳥八幡宮「観月祭」(ふとん太鼓)
9月9日～10日
- 大鳥大社「秋祭り」(だんじり)
10月5日～6日
- 板井神社(こおどり)
10月7日

■大阪21世紀計画・秋の主なイベント

- 世界トランポリン競技選手権大会
8月24日～26日 大阪城ホール
- 国際貿易投資コンベンション
10月1日～4日 大阪商工会議所
- 御堂筋ショーウインドーコンクール
10月1日～11月12日 御堂筋
- IULA大都市フォーラム
10月30日～11月1日 大阪ロイヤルホテル
- 御堂筋光のフェスティバル
11月3日～12月26日 御堂筋
- 御堂筋パレード
11月4日 御堂筋

●大阪国際ファッションフェスティバル

11月12日～17日

ファッションシンポジウム

11月12日 大阪商工会議所

ファッションショー

11月13日～14日 大阪城ホール

アパレル・身の回り品展

11月13日～14日 大阪マーチャンダイズマート

繊維ストッフ展・情報展

11月16日～17日 大阪マーチャンダイズマート

●1万人の第九コンサート

12月2日 大阪城ホール

SADA入会について

- 7月に徳田賢志さん横山和夫さんが入会され7月末現在会員数は38名になりました。新会員も「会員のプロフィール」で自己紹介をお願いしております。
- SADAに入会ご希望の方は、事務局またはお知り合いの会員にご相談下さい。

表紙のデザイン

- SADAのロゴタイプは松江寛之会員にお願いし、多くのプレゼンテーションの中から理事会で決定したものです。アプリケーションも含めて大変ご苦勞いただきました。
- 大仙公園・平和塔の写真は広報委員・山崎晶会員の手になるものです。今後も堺の文化のシンボルを、ユニークなカメラアイで捉えた傑作で表紙を飾って行く予定です。

編集後記

生後6カ月のSADAが、一人前に広報誌らしきものを発刊するという事は、事業活動の実績などから考えても少し早過ぎるのに違いありません。しかし、理事会のテーブルで賽は投ぜられ、GOと決まれば走り出すのみです。広報委員を山崎晶、坂下順二、辻哲男の3氏に引き受けていただきました。

できるだけ会員参加型の編集内容を企画して行こうというところから「SADA Forum」シリーズを設け、老先生に歴史探訪ものの連載をお願いし、企業製品紹介は賛助会員のアルス刃物さん、ズームアップは坂下さん、味のアナ場情報は浅野さんにそれぞれトップバッターをつとめていただきました。表紙は堺の代表的な文化スポットを新しい切口で撮影して行こうと、山崎晶さんに撮りおろし連載をお願いしております。勝手気ままに集った原稿を編集レイアウトし、印刷物にする辻さんが一番大変だったと思います。

今回の創刊号は、いささかカタ苦しくなりましたが、次号からは、できる限りマイルドタイプなエディションを心がけてまいります。また、編集スタッフのアンテナだけに頼らず、会員・賛助会員の皆さんからの情報提供やご意見、ご指導を得ながら内容を充実させていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

(広報委員・桑原正嗣)

会報 SADA 創刊号
昭和59年9月1日 発行

発行 堺デザイン協会
〒590 堺市北向阳町1-1-7
オカムラデザインプロ内
TEL 0722-29-5011

編集 堺デザイン協会広報委員会